



県議会議員講座「こんにちは！県議会です」開催概要

令和7年2月6日（木）13時30分～14時30分

宮崎県立みやざき中央支援学校 高等部3年生 32名

講師：渡辺 正剛 議員

図師 博規 議員

開催内容

- | | |
|------------------|------------|
| ① 学校あいさつ | ④ 働くことについて |
| ② 講師自己紹介 | ⑤ 質疑応答 |
| ③ 県議会の仕組みや役割等の説明 | ⑥ 生徒代表あいさつ |

○ 講座内容

講師である渡辺正剛議員、図師博規議員の自己紹介のあと、県議会の役割や仕組み等のほか、支援学校の生徒の皆さんにとって大切なテーマである「働くこと」について講師から話がありました。また、質疑応答では、以下のやりとりがありました。

【質問】

どうして議員になろうと思ったのか教えてほしい。

【渡辺正剛 議員】

4年前までは東京でサラリーマンをやっていたが、高齢となった両親の面倒を見るために帰ってきた。ただ、一日中面倒を見ているわけではないので、何か人のためになる仕事をしたいと考えた。

国富町の友人と話をする中で、これまでの経験を生かして県の仕事に携わることを勧められ、宮崎をより良くしたいとの思いから県議会議員となった。



（渡辺正剛 議員）

【図師博規 議員】

病院で福祉の仕事をしていたが、福祉を充実させようと思ったら予算が必要で、病院で勤務しては予算を確保するために動くことができないと考え、まずは自分の住んでいる木城町の町議会議員となって、町の福祉を充実させた。

そして、今度は県全体の福祉を充実させるため県議会議員となった。



（図師博規 議員）

○生徒代表あいさつ

本日はお忙しい中、みやざき中央支援学校に来てくださりありがとうございました。

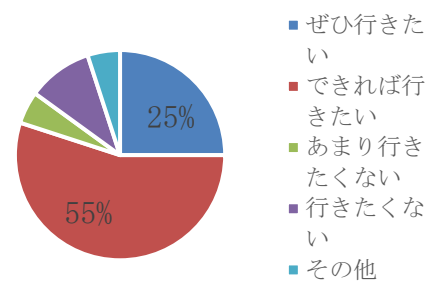
宮崎県のこと、議員のことを知ることができて良かったです。県議会は大変なのだなと思いました。そして、仕事の中では「ほう・れん・そう（報告・連絡・相談）」をいつも忘れないということを学びました。またみやざき中央支援学校に来てほしいです。



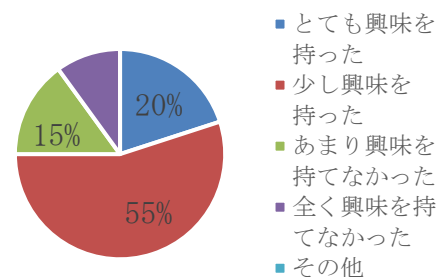
○ 受講された生徒の皆さんへのアンケート結果

- ・ 私たちが住みやすくなるために活動をしてくれてたんだなと思いました。卒業後は報連相、みだしなみ、休まないことを心がけたいと思います。
- ・ 県議会の話し合いで宮崎が大きくなっていることがわかりました。みんなの選挙権で成り立っていることもわかりました。
- ・ 図師さんも渡辺さんも県のためにいっしょうけんめいやっているの、すごいと感動しました。自分もこれから社会人になるので、今日学んだことをいかしたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 県のことを大事にしていることがわかりました。わたしたちや県のために支えてくださり、ありがとうございました。
- ・ 選挙で立候補している人たちの思いや考えをしっかりと聞くことが大切だと思いました。見た目だけで判断するのではなく、しっかり受け止めてから判断したいと思います。
- ・ 県議会のみなさまは、県庁の人たちと一緒に話をしているいろんなことを決めていることがわかりました。
- ・ 県議会の仕事はあまり知らなかったのですが、さまざまな活動をしていることを知ることができました。

問1 有権者になったら投票に行ってみたいと思いましたか。



問2 県議会やお住まいの市町村の議会の活動に興味がありましたか。



※アンケート回答数 20名

